２００８年度　中間決算

2008年3月1日～8月31日

2008年10月8･9日

イオンディライト株式会社

代表取締役社長　堤　唯見

1．２００８年度中間業績

２００８年度中間決算のポイント

過去最高の売上・利益更新

✔ 期首予想を上回り前期比増収・増益
売上108.1%　営業利益128.9%（前年同期比）

✔ 重点施策の「利益重視」が大きく貢献
売上総利益率・営業利益率ともに向上
売上総利益率　13.7%→14.4%　営業利益率5.8%→6.9%

✔ 初の海外進出　中国北京で準備完了
北京に続き山東省で業務拡大へ

①損益計算書（要約）

単位：百万円

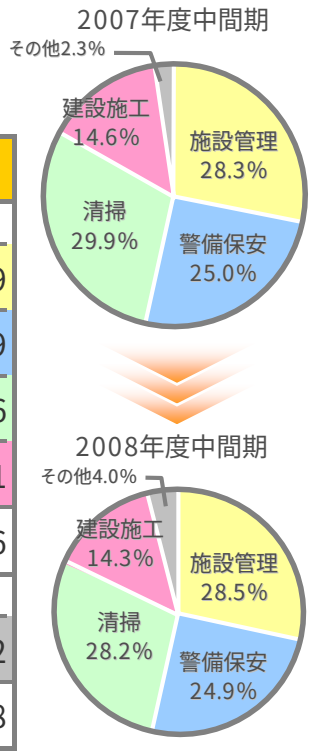
	2007年度 中間期	売　上 構成比(%)	2008年度 中間期	売　上 構成比(%)	前期比 (%)	増減額
売　上　高	67,766	100.0	73,265	100.0	108.1	5,498
営業利益	3,935	5.8	5,073	6.9	128.9	1,138
経常利益	3,833	5.7	4,979	6.8	129.9	1,145
当期純利益	2,080	3.1	2,702	3.7	129.9	622

②セグメント別売上高

◇総合の強みを更に推進、各分門とも順調に推移

単位：百万円

	2007年度中間期	2008年度中間期	前年同期比(%)	増減額
①ビル管理部門				
施設管理事業	19,153	20,912	109.2	1,759
警備保安事業	16,915	18,255	107.9	1,339
清掃事業	20,258	20,684	102.1	426
建設施工事業	9,904	10,496	106.0	591
ビル管理部門計	66,232	70,348	106.2	4,116
②その他部門				
その他事業	1,533	2,916	190.2	1,382
①＋②売上高合計	67,766	73,265	108.1	5,498



◇その他事業は、マンション管理、土地･建物の賃貸事業、技術研修事業及び人材派遣業などです。

③貸借対照表(要約)

単位：百万円

科　目	2007年度期末	2008年度中間期	増減額
流動資産	28,764	31,628	2,864
固定資産	18,653	18,459	▲ 194
有形固定資産	1,885	1,944	59
無形固定資産	13,356	12,975	▲ 381
投資等	3,411	3,539	127
資産合計	47,418	50,087	2,669

科　目	2007年度期末	2008年度中間期	増減額
流動負債	22,533	24,100	1,566
固定負債	2,395	933	▲ 1,461
負債合計	24,929	25,034	104
株主資本	22,512	24,817	2,305
評価換算差額等	▲ 24	234	259
純資産合計	22,488	25,053	2,564
負債･純資産合計	47,418	50,087	2,669

④キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	2007年度 中間期	2008年度 中間期	2007年度 通期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,711	3,906	6,472
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 673	▲ 1,664	▲ 2,190
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 3,096	▲ 2,646	▲ 6,094
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,058	▲ 402	▲ 1,811
現金及び現金同等物の期首残高	9,469	7,657	9,469
現金及び現金同等物の期末残高	8,410	7,255	7,657

主な要因

営業活動によるキャッシュフロー

○税引前中間純利益の計上
⇒48.63億円の増加
○受取手形・売掛金
⇒14.58億円の減少
○支払手形・買掛金
⇒21.89億円の増加
○法人税等の支払い
⇒25.79億円の減少

投資活動によるキャッシュフロー

○有形固定資産の取得及び売却
⇒1.38億円の減少
○無形固定資産の取得
⇒0.8億円の減少
○関係会社消費預託の支出及び返還
⇒15億円の減少

財務活動によるキャッシュフロー

○債権流動化資金返還
⇒22.50億円の減少
○配当金の支払い
⇒3.96億円の減少

⑤新規就業先紹介

1．グループ外新規

Pasar幕張

銀河モール花巻

全国菓子博覧会

2．グループ内新規

イオン上里SC

イオン大高SC

イオン名寄SC

3．イオン銀行　ATM・インストアブランチ工事受託

⑥国内新規就業及び下期業務開始物件

国内大規模商業施設面積のシェア、さらに拡大！

国内最大級のエコショッピングセンター
イオンレイクタウンの受託を始め
大型商業施設に新規就業予定

グループ以外の大型商業施設も
商業施設管理のプロとして受託

ÆON delight

2．イオンディライトの基本戦略と下期方針

①理念を共有する企業のＭ＆Ａ

新しく仲間が加わり　グループ力を発揮して　“企業価値”を向上
そして新たな成長ステージへ

次代を担う技術者養成の
エキスパート

イオンディライト
アカデミー㈱

バックオフィスサポートの
エキスパート

イオンディライト
タワーズ㈱

商業施設警備の
エキスパート

イオンディライト
セキュリティ㈱

金融施設管理の
エキスパート

イオンディライト
セレス㈱

エイ・ジー・サービス㈱
AZS

小型商業施設メンテナンスの
プロフェッショナル

環境整備㈱
KSK

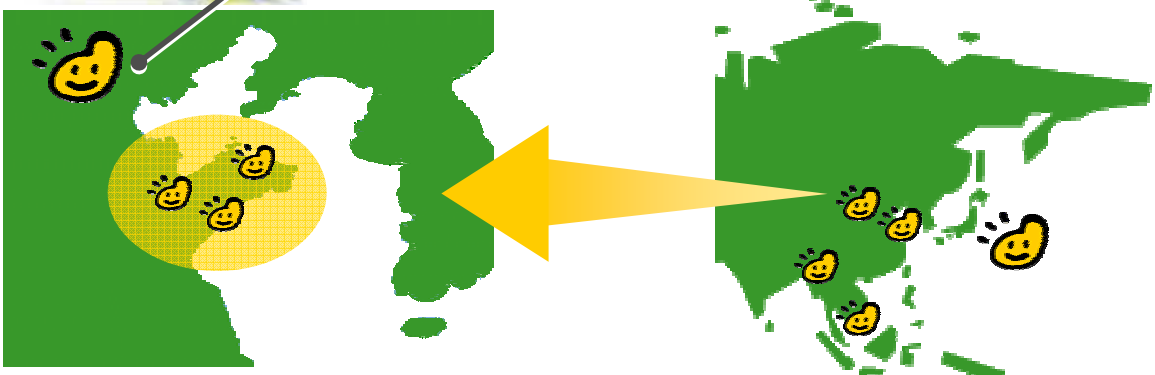
北関東最大手　地域密着型ビルメンテナンスのエキスパート
2008年10月株式取得

②海外戦略

① イオングループの出店に合わせ、
　北京に続き山東省へ展開
② 更なるアジア戦略の推進
　(中国その他地域、東南アジア)

社名	永旺永楽（北京）物業管理有限公司
所在地	北京市昌平区
代表者	董事長兼総経理　大林哲雄
設立	２００７年１１月
持株比率	イオンディライト株式会社１００％
業務内容	建物管理業務

イオン北京国際商城



北京・山東省（華北エリア）

アジアマーケット

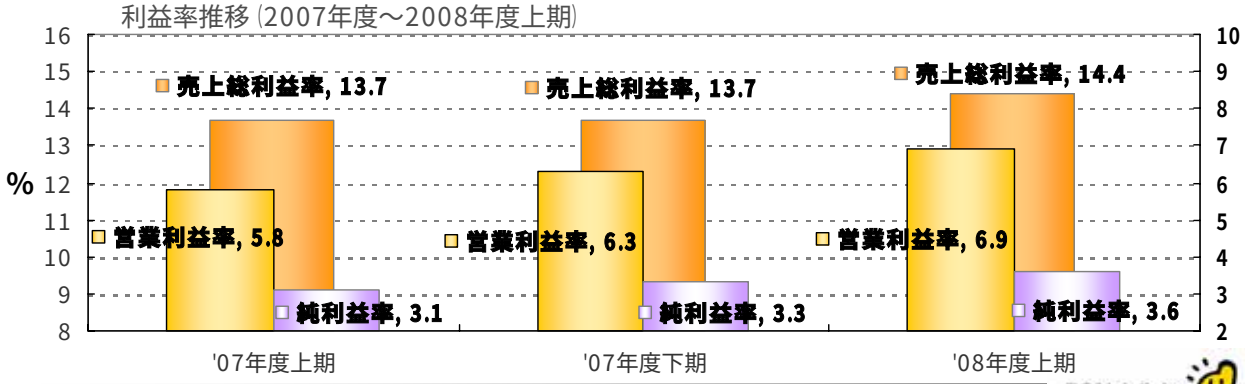
③利益重視施策の進捗

1）“働き方の改革”“生産性の向上”
『清掃事業のコア化』直営化実験を開始

2） 委託先の集約化

3）“価格と品質のバランス”を評価していただける案件へ
既存物件は収益構造見直しを図り利益改善

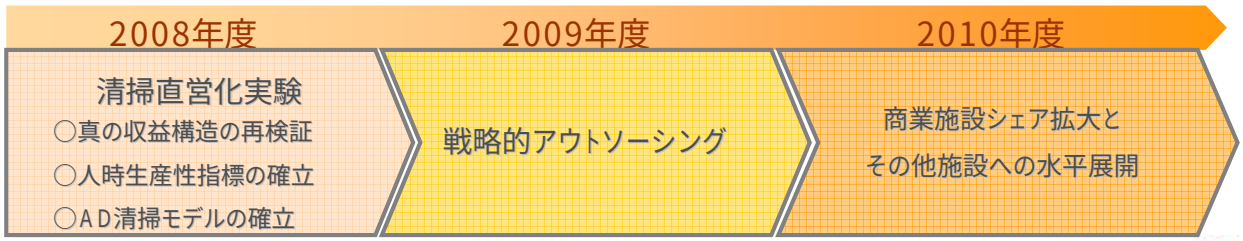
利益率推移（2007年度～2008年度上期）



④清掃事業のコア化のステップ

2008年度　下期の取り組み

成長シナリオ



⑤環境負荷低減への取組み

メンテナンスもエコへシフト
地球に優しいエコメンテナンスへ

1)CO_2削減部を新たに設置
「見える化」を進め、持続可能な削減を提案

2)消費電力の少ない
省エネ型照明(LED)を提案・導入
環境負荷低減のアイデアを
大型商業施設へ積極的に提案

3)イオンレイクタウンにおいて電気自動車でカート回収
日常業務におけるCO_2排出も抑制

⑥ニーズにお応えする提案力の発揮

今求められているのは“提案力”
安全・安心・快適・清潔を追求し続けます。

1) ベビーラウンジのご提案
お客さまの視点で快適と清潔を追求
従来の“赤ちゃん休憩室”を
“プレミアムベビーラウンジ”へ

■プレミアムベビーラウンジ
基本コンセプト

2) 巨大商業施設で効率よく
全てのお客さまへ安全・安心を
巡回警備に“セグウェイ”を導入

巡回に使用するセグウェイ

⑦品質のマネジメント

更なる「安全・安心」を創造してまいります。

1）全国の受託管理物件を特別編成チームが品質チェック

・インスペクションチームが情報を集約、分析と検証を実施

・品質向上キャンペーンとして、「事故ゼロ活動」を推進

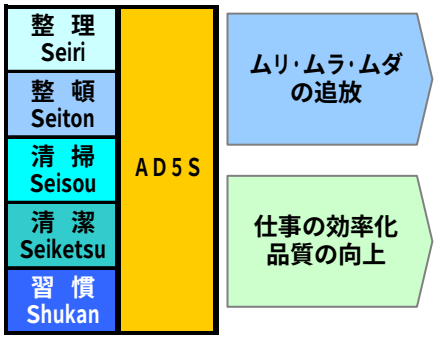
2）製造業の５Ｓを「習慣」へ

ＡＤ５Ｓ活動でムダ・ムラ・ムリを追放し

日常業務も効率化、品質も向上

作成・配布した

ノウハウ集



⑧更なる品質向上へ　人材育成の新拠点

長浜サイエンスパークに
高機能型教育研究施設いよいよ着工

（仮称）

「イオンディライトアカデミーながはま」

◇ イオングループの「地球温暖化防止」シンボル
◇ 「産・官・学」連係による新たな人材養成、研修
◇ 脱ケミカル、省エネ技術の研究・開発、製品化
◇ オペレーション開発、次世代型マネジメント構築

⑨ＣＳＲ活動

1．CO_2計算機を小中学校へ寄贈

全国の７校へ各１００台
合計７００台を寄贈

色々なエネルギーの使用を
CO_2の排出量に換算できる

ＣＯ２計算機を実際に使用した
小学校での授業風景

**次代を担う子どもたちの
環境教育の一助に**

2．イオン・クリンキャンペーン

福井県（気比の松原）で実施されたキャンペーンに
役員１５名を含む多数の従業員が参加しました。

⑩０８年度の業績予想

単位：百万円

科　目	08年度業績予想（修正後）	売上構成比（%）	08年度期首予想	売上構成比（%）	2007年度実績	売上構成比（%）	対前期増減	
							額	%
売上高	147,000	100.0	145,000	100.0	137,519	100.0	9,481	106.9%
営業利益	9,900	6.7	9,100	6.3	8,330	6.1	1,570	118.8%
経常利益	9,750	6.6	9,000	6.2	8,186	6.0	1,564	119.1%
当期純利益	5,150	3.5	4,600	3.2	4,379	3.2	771	117.6%

⑪利益還元について

堅調な業績により、上期2.5円増配

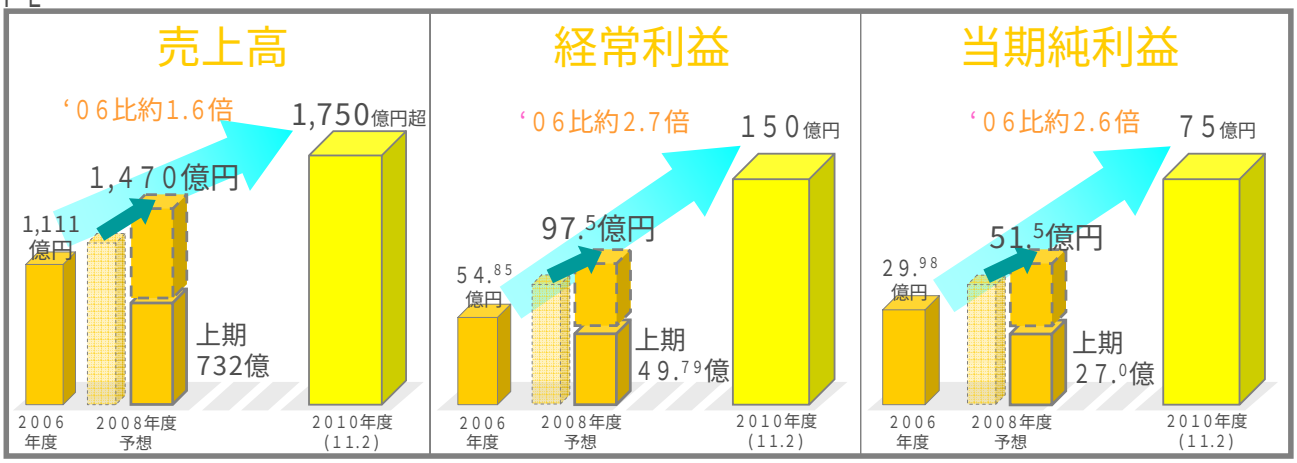
	1株あたりの配当金（円）			
	2007年度実績		2008年度予想	
	上期	下期	上期	下期
普通配当	7.5円	10円	10円	10円
年間配当（計）	17.5円		20円	

※2007年度上期の配当実績につきましては、2007年度期首に株式分割が行われたと仮定した場合の配当金を記載しております。

3．中期経営計画とその進捗

２０１０年度の目標数値

ＰＬ



		２００８年度（予想）		２０１０年度目標
①	売上高	1,470億円	→	1,750億円超
②	経常利益	97.5億円	→	150億円
③	当期純利益	51.5億円	→	75億円
④	ＥＰＳ	129.8円	→	189.1円

グラフの大きさはイメージです。達成率は2008年度予想を2010年度まで除したものです。
経常利益･当期純利益及びＥＰＳは目標としている数値の中位を表しております。

ÆON delight

（参考）　会社概況

①ディライトウェイ ―経営理念―

イオンディライトは、
お客さまの「環境価値」を創造し続けます。

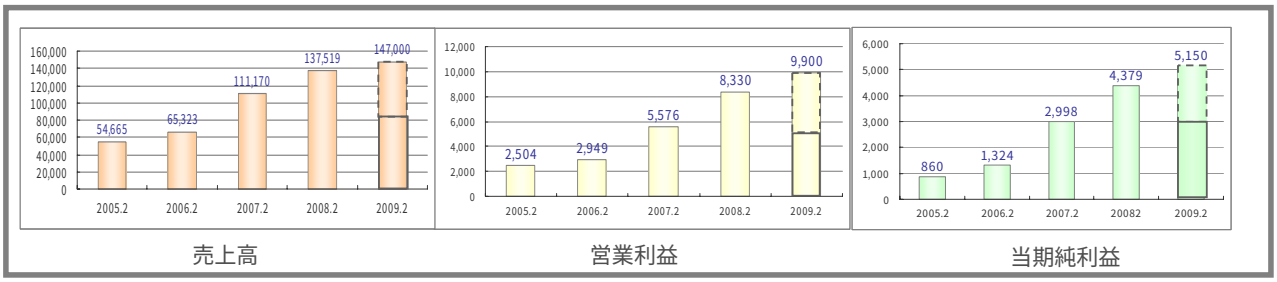
②ディライトウェイ ―ビジョン―

安全・快適を常に進化させる
「環境価値」創造のパイオニアとなる。

③損益推移

1．推移グラフ

単位：百万円



売上高　　営業利益　　当期純利益

2．損益の推移

単位：百万円

	2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度（予想）	
		前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
売上高	54,665	98.1%	62,323	114.0%	111,170	178.4%	137,519	123.7%	147,000	106.9%
営業利益	2,504	148.5%	2,949	117.8%	5,576	189.1%	8,330	149.4%	9,900	118.8%
経常利益	2,511	148.0%	2,953	117.6%	5,485	185.7%	8,186	149.2%	9,750	119.1%
当期純利益	860	581.1%	1,324	154.0%	2,998	226.4%	4,379	146.1%	5,150	117.6%

④経営指標推移

（ご参考）

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度 中間期
EPS（一株当たり当期純利益）	64.26円	151.17円	110.4円	半期） 68.12円
ROE（自己資本当期純利益率）	8.29%	16.85%	21.00%	半期） 11.39%
ROA（総資産経常利益率）	10.70%	13.90%	17.10%	半期） 5.54%
売上高経常利益率	4.74%	4.93%	6.00%	6.80%
売上高当期純利益率	2.11%	2.70%	3.20%	3.69%
総資本回転率	2.26回	2.83回	2.90回	半期） 1.50回
自己資本比率	53.69%	39.87%	47.40%	49.87%
1株当たり純資産	825.28円	966.41円	566.90円	629.71円

⑤従業員の状況

1．従業員数の推移

単位：名

性別＼年度		2003年度 期末	2004年度 期末	2005年度 期末	2006年度 期末	2007年度 期末	2008年度 中間
正社員	男性	1,898	2,306	2,396	3,810	4,013	3,884
	女性	100	157	184	367	378	272
	計	1,998	2,463	2,580	4,177	4,391	4,156
契約社員	男性	887	745	606	1,094	1,379	1,351
嘱託社員	女性	176	131	132	133	136	134
	計	1,063	876	738	1,227	1,515	1,485
パート・アルバイト		3,332	2,499	2,444	2,834	2,652	2,547
合計		6,393	5,838	5,762	8,238	8,558	8,188

2．平均年齢の推移

年度	2003年度 期末	2004年度 期末	2005年度 期末	2006年度 期末	2007年度 期末	2008年度 中間
平均年齢（才）	43.1	41.8	42.0	43.8	45.8	45.7

◇上記は２００８年８月末日のデータであり、パート・アルバイト欄の人数は月１７２時間労働とした場合の人数です。
パート・アルバイト総数は5,１２５名であり、正・契・嘱5,６４１名を加えた全従業員数計は１０,７６６名となります。

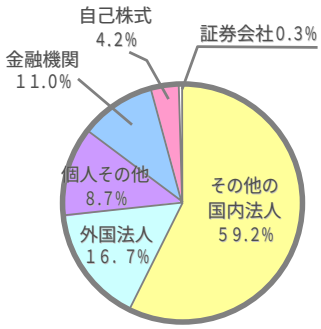
⑥株主の状況・株価推移

1．大株主の状況（上位１０社）

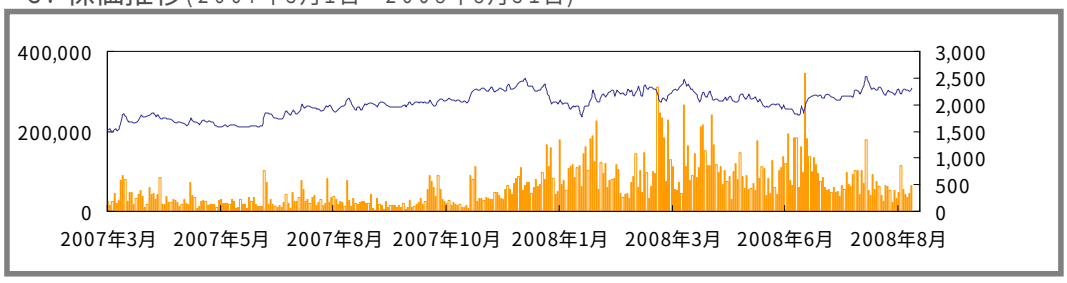
所有比率は発行済株式（4,140万株）に対する比率

順位	株主名	所有株式数（株）	所有比率
1	㈱マイカル	23,261,800	56.19
2	日本トラスティサービス信託銀行㈱	1,796,300	4.34
3	イオンディライト㈱　（自己所有）	1,729,519	4.18
4	ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	1,166,122	2.82
5	ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	729,900	1.76
6	イオンディライト従業員持株会	617,600	1.49
7	資産管理サービス信託銀行㈱	583,400	1.41
8	イオン㈱	560,800	1.35
9	日本マスタートラスト信託銀行㈱（信託口）	550,100	1.33
10	日本トラスティサービス信託銀行㈱	419,400	1.01

2．所有者区分（比率）



3．株価推移（２００７年３月１日―２００８年８月３１日）



項目	内容
期間中最高値	（２００８.７.２８）２,５４０円／株
期間中最安値（分割前）	（２００７.３.５）３,０００円／株
最大出来高	（２００８.６.２０）３４５,５００株

◇上記は２００８年８月末日時点のデータです。
◇当社は、2007年12月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。

注意事項

■この資料には、イオンディライトの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。

◇これらの記述は、過去の事実だけではなく、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定にもとづく見込みです。
そのため、実際の業績は見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

■資料中、特に注記がない場合を除き下記の方法により記載しております。

◇全て連結を対象として記載
◇記載金額は百万円未満を切り捨て
◇比率は小数点第2位を四捨五入
◇会計期間は3月1日から翌年2月末日であり本資料は中間期である2008年3月1日～同年8月31日までを対象として記載

本日は、ご清聴頂きまして誠にありがとうございました。
ご意見･ご質問につきましては、下記にお願いいたします。

イオンディライト株式会社(証券コード:9787)

ＩＲ担当連絡先　部署名:ディライトコミュニケーション部
責任者名:　指　江(サシエ)
TEL 06－6260－5632
FAX 06－6260－5653
又は、ホームページよりお問い合わせください。
Http://www.aeondelight.co.jp
※FAXにてご送信される方は、
お名前とご返答用連絡先を必ずご記入ください。

本日、ご説明した内容につきましては発表日当日(2008年10月8日／9日)に入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により業績予測につきましては、変更する場合がございます。